

街の大半が水没してしまう場合の避難をどうすべきか

参考資料

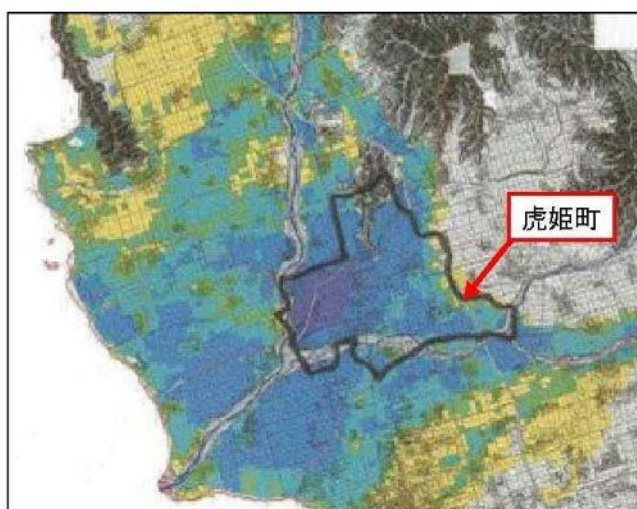
- ・河川がはん濫した際に、街の大半が水没してしまう市区町村があります。このような市区町村では水害時に避難をどのようにすべきか、悩みを持たれています。
- ・解決策の一つとして、広域避難が考えられます。

街の大半が水没

・街の大半が水没してしまう可能性を持つ市区町村として、東京都足立区、江東区、北区、葛飾区、台東区、滋賀県虎姫町などがあげられます。



図－１ 虎姫町位置図



図－２ 姉川・高時川の浸水想定区域と虎姫町

広域避難の検討

- ・滋賀県虎姫町では、協議会※１）において、市町界を越えた広域避難の検討を進めています。
- ・隣接する長浜市にある、県所管の長浜ドームを避難所に使えないか検討することとしています。
- ・北陸自動車道を年度内に何らかの形態で避難に活用できるよう要望していくことも考えています。

※１）協議会とは、虎姫町を含む湖北地域の２市６町で立ち上げた湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会です。国、県、学識経験者等とともに水害からの被害を回避・軽減するためのソフト対策を協議しています。



図－３ 虎姫町を流れる河川と長浜ドーム

国土交通省河川局防災課作成資料